



北東西南 (NEWS) 2020年 夏号

発行所 和歌山高齢者生活協同組合
住所 和歌山市里198-1
電話 (073)488-1180

ホームページ

人生の完成期、輝いて生きる！

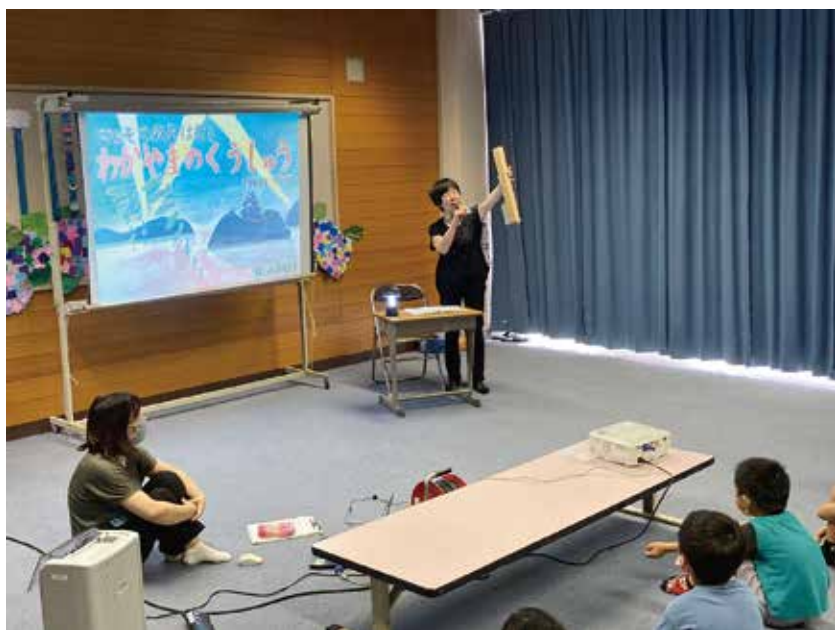
組合員数 4,271名 (2020年7月31日現在)

もくじ

- ・特集
「未来へ伝ふ 戦争と平和」 1～2面
- ・インタビュー「75年前の私」
戦時下の暮らしと神戸大空襲 3面
- ・特集
「第21回通常総代会報告」 5～8面

戦後75年
特別企画

未来へ伝ふ 戦争と平和



戦後75年を迎えた今年。新型コロナウイルス感染症の影響で各地の慰霊行事が縮小されました。戦前戦中を生きた世代はいわゆる後期高齢者となり、あの惨禍を語る人は年々減少しています。今号の巻頭特集は「戦争と平和」がテーマ。戦争を語り継ぐ戦後世代、満足に教育を受けられないまま戦中戦後を生き抜いた人々の取り組みにスポットを当てました。

(2面へ続く)

戦争経験談をお聞かせください

和歌山高齢協の通信では、組合員のみなさんの戦争経験談を探しています。辛く、悲しい記憶もあると思います。無理にはと言いませんが、少しでも平和を守っていくための道標にしてゆきたいので、投書あるいはお電話でのご一報をお待ちしております。

〒649-6311 和歌山市里198-1
電話 073-488-1180
FAX 073-488-1181
メール hayashi@s-co-op.or.jp
〈高齢協本部 担当：林〉



空襲語り継ぐ ”戦後世代“

組合員 No.273

池田 香弥さん(68)

「今年の梅雨は全国で大雨に見舞われました。しかし、75年前のきょう7月9日は雨でなく、恐ろしい数の爆弾が降ってきました」。組合員の池田香弥さん(68)が和歌山市松江北の松江小学校で、3年生約80人に紙芝居「せんそうのおはなし わかやまのくしゅう」を上演しました。



紙芝居は、現在の気象台近くで和歌山大空襲を経験した山本喜美子さん(89)が作りました。山本さんは、100人以上の犠牲者を出した惨状を伝えようと40年近く上演。和歌山放送ラジオでアナウンサー経験のある池田さんと出会い、紙芝居を託しました。

「飛行機の轟音が近づき、防空壕へ。母にしがみついてガタガタ震えていました」「火の粉が吹雪のように舞い上がり、炎の竜巻で741人が亡くなりました」「子供を大切に抱えたまま真っ黒に焼けてしまった人もいました」。

800トンの焼夷弾が降り注ぎ、600メートルの火柱が立ったこと、遺体を焼くにおいが街に漂ったことなど、悲惨な状況がつぶさに再現されます。「戦争経験がないので、経験者の記憶の底にあった言葉を大切にし、学習を重ねています」

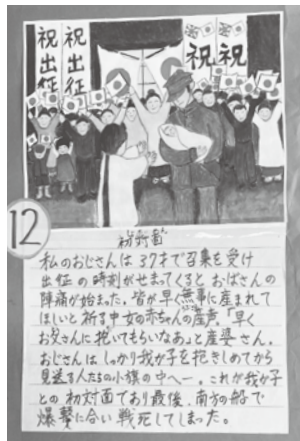
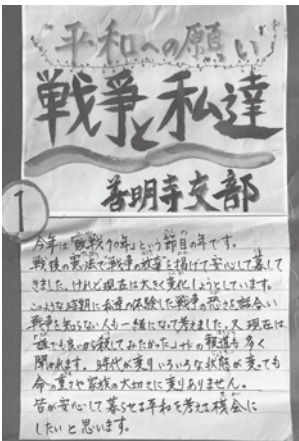
「日本は戦争の恐ろしさ、悲しさ、むなしさを学び、『二度と戦争をしない』と憲法に決めました。平和は当たり前になっただけで、ありがたみを感じることが少ないかもしれません。しかし、だからこそ憲法を大切にしてほしい」。託されたバトンを次の世代へつなぐ。

池田さんは紙芝居の依頼を随時受付中。希望者は高齢協本部(073・488・1180)。

戦争の惨禍 紙芝居に

善明寺識字学級メンバー

戦争などのため満足に教育を受けられなかった人たちが通う和歌山市の善明寺識字学級。文字の読み書きができないために戦中戦後は大変な苦労を経験しました。それらを次代に伝えるため、生徒約10人が経験を紙芝居「平和への願い〜戦争と私達」にまとめ、地域の小学校の平和学習や子ども会で披露しています。



「私は子どもの靴で水をすくひ、頭へかけて残りの水を飲ませました。それが”末期の水“となりました」「人の命を何とも思わない、そんな心に慣らされてしまう恐さ。戦争は最大の人権侵害だと身をもって知った」。33枚の紙芝居にはそれぞれの体験談がこめられています。

6歳で終戦を迎えた楠見知代美さん(81)は父が戦死し、家族の生活を守るため子守奉公で働き学校に通えませんでした。40歳で識字学級を知るまで住所も書けず、入園手続きなどで字が読めなかったために離婚を迫られたり、職場で笑いものにされたりと辛い経験を重ねてきました。「住み込みの子守奉公先から逃げ出すと駅へ走りましたが、駅の文字が読めず帰れなかった。毎晩家の方向を向いて泣いていました」

教室代表の山本はつ美さん(81)は「部落差別で経済的に苦しかったり、戦争で親を失ったりして学校へ行けなかった人たちが、それぞれの地域にある識字学級で学んでいます。『思い出したくない』『わかってもらえない』といった気持ちを持ち越え、次の世代に伝えるべき事実を紙芝居にまとめました」と話します。

善明寺識字学級は、善明寺福祉館と善明寺文化会館で定期開催。詳細は文化会館(073・452・6969)。

戦時下の暮らしと神戸大空襲

日高町在住 山田 君代 さん(94)

映画「火垂るの墓」で描かれた神戸大空襲。神戸市は複数回空襲に見舞われましたが、1945年3月17日と同年6月5日の空襲は特に激しく、市街地の大半が破壊されました。この3月17日の空襲を経験したのが現在、日高町小坂で暮らす山田君代さん(94)。戦時中の暮らしや空襲について尋ねました。

——75年前、空襲を経験しました。

「6人きょうだいの3番目の長女として1926年に神戸で生まれました。父は造船所の設計技師で駆逐艦などを手掛けていました。兄は満州へ兵士として駆り出され、空襲当時19歳だった私は母と一緒に弟たちを連れて逃げました。」

——空襲当時の様子は。

「焼夷弾が雨のように降り注ぎ、あちこちで火の手があがりました。公園の防空壕は人であふれかえり、仕方なく近くのコンクリートの陰にうずくまって耐えました。熱風が吹き荒れ、降りかかる火の粉をたたきながら一晩過ごしました。夜が明けると、おびただしい数の遺体が道端に横たわっており、自宅もミシンの頭と釜しか残らず、他はみな真っ黒に焼けてしまいました。」

——その後は。

「その日のうちに弟を連れて両親の田舎である日高へ向かいました。阪神電車は地下鉄だったので

動いていました。天王寺で空襲警報がありました。が、すぐ解除され、紀伊内原駅へ着いた時には夜でした。真っ暗で寂しい夜道を、獣の鳴き声に驚かされながら峠を越えて歩きました。」

——幼少期の思い出を。

「皇太子誕生や南京陥落など折々に旗行列を作った歌を歌ったのを覚えています。女学校2年生の時に日米開戦を知らされました。英語の授業はなくなり、外国人講師は帰国。近くにあった日赤病院で勤労奉仕として包帯巻きなど手伝いました。工場へ学徒動員された先輩の中には空襲で命を落とした人もいました。学徒動員されないように校長の紹介で東須磨国民学校の教員になりました。」

——若くして教師になられたんですね。

「教員養成所に通いながら3年男子組40人を受け持つことになりました。17歳で『先生』ですよ。田舎に家族のいない児童を連れて、龍野市へ学童疎開したこともありました。食べ物も少なく、いつもひもじい思いをしていました。」

——家族についてお聞かせください。

「父は『日本の駆逐艦は速さが自慢』と常々話していました。戦後知ったのですが、人間魚雷『回天』の設計にもかかわっていたようです。回天の仕事が始まったころだったのか、父の人柄が変わった時期があり、『男子にはできるだけいいものを食べさせよ』と言っていました。おそろしく、若者たちを死なせる兵器を作る苦しさを、機密事項ゆえに誰にも話せず抱えていたんだと思います。」

——戦後75年を迎えました。

「8月15日の玉音放送は親戚の家で聞きました。お寺のお坊さんが『負けた』と言ったのが今も耳に残っています。私は『これで戦争済んだ』とほっとしました。兄は朝鮮半島で終戦を迎え、両親も神戸から引き揚げ、終戦から1年後に家族がそろいました。学童疎開の時、子どもたちは親と引き離され、生活も貧しく、本当にかわいそうだった。こんな思いをする戦争は二度とあってはならないと思います。」



山田 君代 さん

高齢協の ここに注目!!

③書籍紹介

『満洲開拓団棄民の私』

7月、組合員の上地亨江子さんから、県内在住の福田茂子さんが書籍『満洲開拓団棄民の私』を出版したとのご連絡をいただきました。出版には元教師の田所顕平さん、横矢道子さんが協力。田所さんに本をご紹介いただきました。

5月中旬、1本の電話が入った。「中国残留孤児で永住帰国した90歳の女性の波瀾万丈の生涯記ができたので出版に向けて手伝ってほしい」。元小学校教員、横矢道子さんからだ。入力されて送られてきた原稿を見て、私の心は揺さぶられた。「これは、ぜひ、きちんとした本にして出したい」。それは、以下のような、筆舌尽くしがたい戦争体験についての語りであったからだ。

福田茂子さんは、1942（昭和17）年6月、両親と3人の弟妹とともに、田辺市から満洲に渡った。父が満洲高野開拓団に加わったからだ。茂子さん12歳、弟9歳、妹5歳と3歳。「満洲国」吉林省敦化県塔拉站（タラジャン）で開拓生活ははじまった。しかし、それは長くは続かなかった。1945年8月18日、「敗戦」の報が入り、翌19日から悲惨な逃避行が始まった。途中、進駐したソ連兵に物資は奪われ、着の身着のまま、沿道の畑の玉蜀黍（とうもろこし）をかじり、僅かな泥水を飲んだ。その間、5歳と8歳の妹は栄養失調で果てた。よう

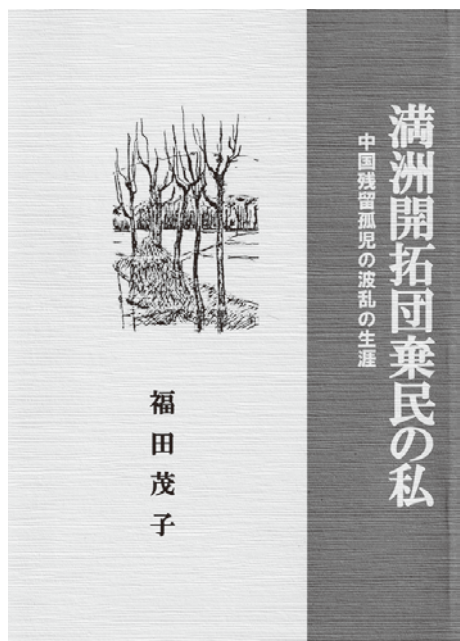


福田家の家族
後列左から 2番目祖父 3番目父 右端母
前列左から 弟 上の妹 茂子さん
(下の妹は生まれていない) 1939年頃

やくたどり着いた吉林市の避難所ではチフスが猛威をふるい、母を失い、茂子さんも感染し死線をさまよった。恢復（かいふく）するも回復しない体力の茂子さんを父は中国人に託さざるを得なかった。父と弟、帰国が決まった直後に父が亡くなり、福田家6人は日中離ればなれになった姉弟2人だけとなり、茂子さんは中国残留孤児になった。

引き取られた茂子さんは、吉林市郊外で暮らした。やがて、18歳の時、養父の兄の長男と結婚。義父が営む紙工房で紙職人として働き、4人の子どもに恵まれた。この間、中華人民共和国が成立し、紙工房は近くの工場に吸収され、茂子さんもそこに移った。

「抗日」の教育が盛んに行われた小学校で、茂子さんの子ど



※書籍は県内各公立図書館で閲覧可能です。

もたちは「日本小鬼子」といじめを受ける。茂子さん自身も、文化大革命に巻き込まれて2カ月閉じ込められ、「日本特務」などという札を吊され、でっち上げの「反省文」を書かされ、殴打された後遺症に帰国後も悩まされるという辛酸をなめた。文革後、茂子さんには「冤罪証明書」が出されている。

1972（昭和47）年、日中の国交が回復し、残留孤児の一時帰国がはじまる。茂子さんは76年、81年と2度、一時帰国しているが、その度に永住帰国への思いは募った。そんな思いを、母のこれまでの壮絶な人生を知った子どもたちが後押しをする。こうして1986（昭和61）年、永住帰国を果たし、続いて子どもたち家族も日本に永住した。

茂子さんは、逃避行の中で救いの手を差し伸べてくれた中国人や朝鮮人、養父母、結婚後の家族などへの思いを抱き「中国は私の恩人」といい、「永劫の平和と日中友好は私の願い」と、壮絶な生涯を本にした強い気持ちと思いを語っている。（田所 顕平）

第21回通常総代会 報告

2020年7月20日 和歌山市立南コミュニティセンター

■はじめに

5～6月に県内組合員約4000人の中から選ぶ代議員「総代」の立候補を公示しました。組合員の中から110人の立候補があり、定数内だったため全員無投票で当選しました。

7月20日、和歌山市紀三井寺の南コミュニティセンターで総代会を開催。今年は新型コロナウイルス感染予防のため開催日を例年の6月から7月に変更しました。開催時間の短縮、検温や手指消毒の実施、換気、飛沫防止対策、マスク着用などの対策をとったうえで開催しました。

大会当日は総代44人が2019年度の振り返りと、20年度の展望について話し合いました。総代の任期は2年間で、よろしくお願ひいたします！



開会あいさつ



検温

■可決された議案 ※議案書は高齢協 HP で閲覧できます。

第1号議案 2019年度事業報告承認の件

介護・福祉事業で売上4億1737万円、剰余705万円を達成。ワークショップ等として、白浜めぐもりの里といった新規事業の牽引と、新任所長4人の新しいパワー、本部と全所長の結束の強まりで達成できました。組合員活動では、紀の川市や白浜町で定期交流イベントの開催、20周年事業としてお助け隊の活動再開や、どこ竹和歌山による竹とんぼリーダー養成講座などを実施。白浜地域ではイタドリ栽培や組合員の白浜支部設立準備会の立ち上げ、伊都橋本地域では地域交流イベントに取り組みました。

〈第2号議案〉2019年度決算ならびに監査報告承認の件

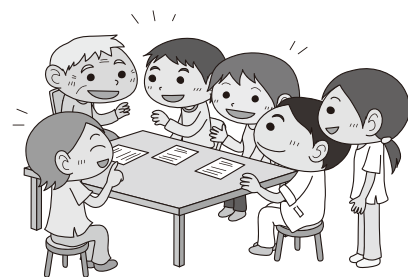
〈第3号議案〉2019年度損失処理案承認の件

〈第4号議案〉2020年度事業計画決定の件

〈第5号議案〉2020年度収支予算決定の件

〈第6号議案〉2020年度役員報酬決定の件

〈第7号議案〉議案決議効力発生の件



第2～6号議案は6・7面にて報告いたします。

第4号議案

2020年度事業計画決定の件

高齢期の不安がつきない時代。安心して、やりがいをもって高齢者になることが難しくなっている時代。一人ではできないことが多くても、力を寄せ合って、つくっていく。誰かのためにという思いを持った方と一緒に、ニーズを探し、方法を考え、形をつくっていく。有益な情報をよせあい、人と人がつながり、場所であつまり、協同の輪をつくっていく。

こうした挑戦を大いに繰り返して、先事例、成功事例に学び、和歌山らしい持続可能な活動をつくりだしていきます。

設立時の原点にたちかえり、設立から20年でつちかった財産をいかし、「高齢者総合サービス業（仮称）」へと転換をはじめたい。高齢者の暮らしと生活の改善は、地域共生として、障害のある方、困窮世帯など困りごとを抱える方と確実につながりながらすすめていきます。全国には多様な事例が既に存在します。日本高齢者生活協同組合連合会に加盟する各高齢協と交流し、ノウハウや情報の収集につとめ、新しい実践をすすめていきます。

第5号議案

2020年度収支予算決定の件

項目	科目	金額（円）
福祉事業収入	介護保険事業	292,214,560
	障害者福祉総合支援事業	97,720,000
	福祉住宅事業	27,270,000
	委託金収入	9,565,600
	小計	426,770,160
福祉事業原価	人件費	293,158,300
	物件費	54,533,280
	小計	347,691,580
一般管理費	人件費	27,440,157
	物件費	44,560,880
	小計	72,001,037
事業剰余		7,077,543
事業外収益		5,558,243
事業外費用		2,582,879
経常剰余		10,052,907

第3号議案

2019年度損失処理案承認の件

	金額（円）
I	当期末処理損失金 （うち、当期純剰余金） ▲24,252,230 (7,051,396)
II	次期繰越損失金 ▲24,252,230

第6号議案

2020年度役員報酬決定の件

2020年度の役員報酬については、下記を総額の範囲とし、この範囲内における各役員への報酬、支給方法等については、理事会にご一任ください。

理事報酬 総額 1500万円以内
監事報酬 総額 20万円以内



開催状況 & 採決結果

総代数=110人(当日出席=44人、書面議決書=64人)

- 第1号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第2号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第3号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第4号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第5号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第6号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決
- 第7号議案
(賛成108 反対0 保留0) 賛成多数で可決

理事長挨拶



総代会に参加された代議員の皆さん、組合員の皆さん、役職員の皆さん、新型コロナウイルス感染症が心配される中でのご出席ありがとうございました。

私たちの生活は新型コロナウイルス感染症の影響で一変しました。これまで普通の生活であったものが実は大変

危なっかしいものであったと思い知らされました。466億円も投じたアベノマスクは小さく、髪の毛やダニが混入したものもあり、生産地や輸入業者も不明朗でした。ベッド数や従事者が減らされてきた医療現場では、身の危険を感じながらの治療を強いられています。設置数が半分に減らされた保健所は、対応を押し付けられ大変苦労しています。二次感染が言われる中でも改善の方向は出てきません。

経済優先の新自由主義政策が国内の生産現場を痛めつけ、医療や福祉制度を後退させてきたツケが噴き出てきています。国民には厳しい、大変もろい社会だということが浮き彫りになりました。政策の誤りが誰の目にも明らかになってきています。

こうした事態の中でも、甘い汁を吸う者たちが国と結びついて栄えるみにくい構造が見えてきました。こうしたものを災害資本主義といい、神戸、東北の震災でも巨額の資金が大企業に流れました。

さて、こうした状況の中でも高齢協の事業所では新型コロナウイルス感染症に対する注意深い対応で努力しています。これまでの知識と技術、心のこもった支援で利用者の方々とつながり、経営が改善しております。現場の皆さんに深く感謝申し上げます。

高齢協は20周年を迎え、地域で、事業所で、様々な取り組みが進みました。次の10年、20年につなげていく礎(いしずえ)としていきたいと思えます。積み上げられてきた「つながり」「きずな」がコロナによって断ち切られることが危惧されます。組合員の生活に注意深く寄り添う、また地域の方々にも役に立つ協同組合として前に進みたいと思えます。

協同組合の歴史を振り返る時、困難な社会であるときにこそ協同の力を発揮してきました。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の協同組合の理念を、組合員一人ひとりの参加とその力を発揮していただきながら、和歌山高齢者生活協同組合を県内に強く、地域にしぶとく根差す組織として発展させていきましょう。全組合員の創意と工夫で歩みだしましょう！

和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中 秀樹

新しい役員のみなさん(敬称略)

1	理事長	田中 秀樹
2	副理事長	島 久美子
3	専務理事	内田 嘉高
4	常務理事	畠山 穂美
5	理事	宇治田 康司
6	理事	金川 めぐみ
7	理事	山田 三代士
8	理事	芝田 努
9	理事	山田 俊治
10	理事	北田 千恵
11	理事	井上 美香
12	理事	小長谷 恭史
13	理事	山本 功
14	理事	柏木 克之
15	理事	坂口 圭子
16	理事	横畑 真治
17	理事	杉原 通男
18	理事	岡 利樹
19	理事	安成 正美
20	理事	牛村 優太
21	監事	日野 のぞみ
22	監事	志場 久起
23	監事	岩橋 典久
24	顧問	中西 優
25	顧問	坂口 健太郎
26	顧問	東 京市
27	顧問	福森 美幸
28	顧問	上野 正紀
29	顧問	岩月 省二
30	顧問	舩木 榮子
31	顧問	井上 勝彦
32	顧問	福田 輝雄
33	顧問	神谷 治良
34	顧問	中 マチ子
35	顧問	阪田 允弘

2年間
よろしくお願いたします！

……… 告知板 「この指と～まれ！」 ……

ささえ愛センターが再開

組合員の地域活動を応援する「やまぐちささえ愛センター」（和歌山市里）はしばらく新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休館していましたが、6月から対策をとっての再開をしています。地域で活動の際はぜひ、ご利用ください。

《使用の際のルール》

- ・利用者全員の検温と手指消毒の徹底
- ・窓を開けての換気
- ・利用者同士の距離を一定保つ
- ・マスクの着用

利用料、予約方法など詳細は高齢協本部（073-488-1180）。



「紀和庵 9月の行事」

住所 和歌山市中之島 782

- ・ 3日（木）… 体操
- ・ 8日（火）… DVDを見る
- ・ 10日（木）… 歌をうたおう
- ・ 15日（火）… カラオケ
- ・ 17日（木）… 絵手紙教室
- ・ 24日（木）… 名曲喫茶
- ・ 29日（火）… 脳トレ

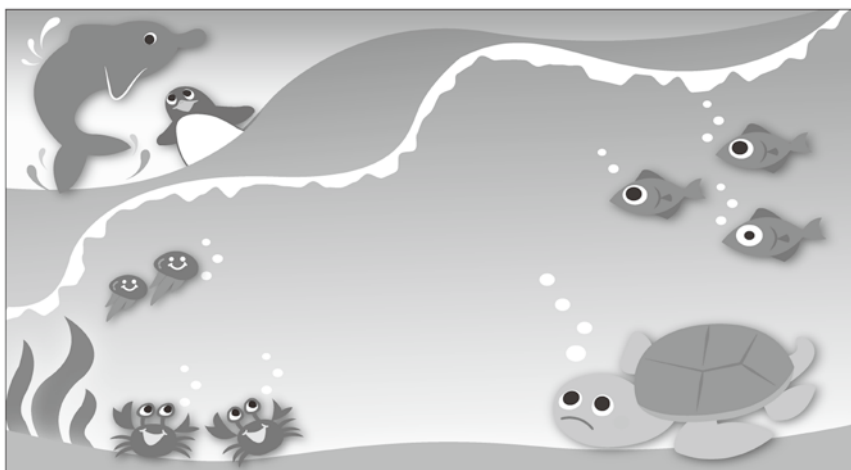
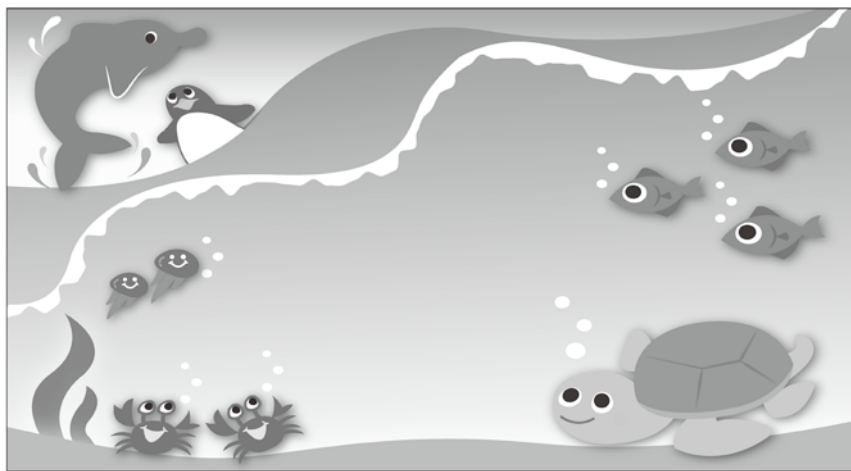
参加費等詳細とお申し込みは高齢協事務局（073-488-1180）。



2017年撮影

間違い探し

2つの絵の中から間違いを7つ探してみましょう。



※11面に解答を掲載

活動レポート



お助け隊が講習会

開催：6月 会場：やまぐちささえ愛センター
内容：組合員による助け合い活動「お助け隊」の隊員養成講座を開催。L型金具を取り付ける際の注意点を学び、電動ドライバーで実際に付ける体験も行いました。



自宅からLINEで面会

開催：6月～ 会場：おたっしゃ館
内容：新型コロナウイルス感染拡大のため、無料通話アプリLINEを使って、ご利用者の地元や米国のシカゴ、東京などにいるご家族の皆様との面会を行っています。



感染症対策セミナー開催

開催：7月 会場：ささえ愛センター&ネット上
内容：県内に18人しかいない感染管理認定看護師の中本千秋さんを招き、高齢協が運営する施設の感染対策への助言、また、講義および手洗いの指導をいただきました。



わがらカフェで落語会

開催：7月 会場：紀の川市の和我楽の家
内容：「落語で笑って認知症予防！」と題し、地元アマチュア落語家2人を招いての落語会を開催しました。コロナ対策をした上で、約20人が大笑いですっきりしました。



毎日の食事より楽しく

開催：8月 会場：やまぐちおたっしゃ館
内容：より新鮮でおいしい食事と共に、調理中の音や匂いも楽しんでもらえるよう、おたっしゃ館の厨房にカウンター窓を新設。食事がますます楽しみになりました。



どっこ竹和歌山が出前授業

開催：8月 会場：和歌山市立西和佐小学校
内容：竹とんぼのつくり方の指導員講座を受けた5人が、西和佐小学校で出前授業。約70人にモノづくりの楽しさと体を使った遊びの楽しさを伝えました。

映画紹介「ムービーガイド」

作品名：軍旗はためく下に

監督：深作欣二 1972年製作/日本/97分

戦争から帰らぬ夫が、戦地で殺された事を知る妻。真相を求めて当時の仲間や上官を訪ね歩く。やがて、明らかになる戦地での出来事は人間の尊厳に関わる壮絶なものだった。戦没者慰霊に加えて欲しいと願っていた妻だが、真実を知る事によりその心が変化する。単に反戦映画というジャンルに収まらず、天皇の戦争責任にも言及する描写が胸をえぐる。深作欣二は、この作品の一年後に代表作「仁義なき戦い」を発表。手持ちカメラを使った独自のカメラワークは、既にこの作品にも活かされている



わかやま訪問介護事業所 島 哲也

組合員 新規加入&増資のお願い

高齢協は出資金を持ち寄って、組合員相互の助け合いの精神で活動する生協法人です。20歳以上で和歌山県内に住所（もしくは勤務地）を有する方ならどなたでもご加入いただけます。ご加入の際にお預かりした出資金は高齢協の事業に使われています。事業拡大に伴い、既組合員の方には増資（出資金を追加する）をお願いしております。ご協力をお願いします。

■新規加入・増資の方法

- ①所定の加入（増資）申込書にご記入ください。
 - ②出資金（一口1000円～）と申込書を、高齢協の各事業所か本部へご持参ください。
- ※申込書は高齢協の各事業所・本部・活動拠点にあり、郵送も致します。
- 出資金振り込みの場合…紀陽銀行東和歌山支店
普通 1647037
- 和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中秀樹
お問い合わせは本部事務局
和歌山市里198-1 電話 073-488-1180 FAX073-488-1181

■加入によるメリット

- ・それぞれの「やってみたい」を助け合って実現できる
- ・組合員活動に参加することで、新しい仲間や生きがいの出会いがある
- ・高齢協からの通信が年4回届く などなど

✧✧✧✧✧✧✧✧✧ 署名&アンケート ご協力に感謝 ✧✧✧✧✧✧✧✧✧

前号で紹介した「ストップ! カジノ 和歌山の会」の署名活動に、多数のご協力ありがとうございました。約70人分の署名を同会メンバーの島久美子さんにお届けいたしました。会は街頭活動などを続けております。これから迎える「with コロナ」の社会にカジノは必要か、「人にやさしい社会」の実現に向けて高齢協も共にできることを考えてゆきたいと思っております。

また、コロナウイルス関連で「不安なことがある方」「技能・役に立てることがある方」についてのアンケートの回答もありがとうございました。

《不安なこと》

- ・マスクがない
- ・消毒液が手に入らない
- ・体温計が品切れで困っている

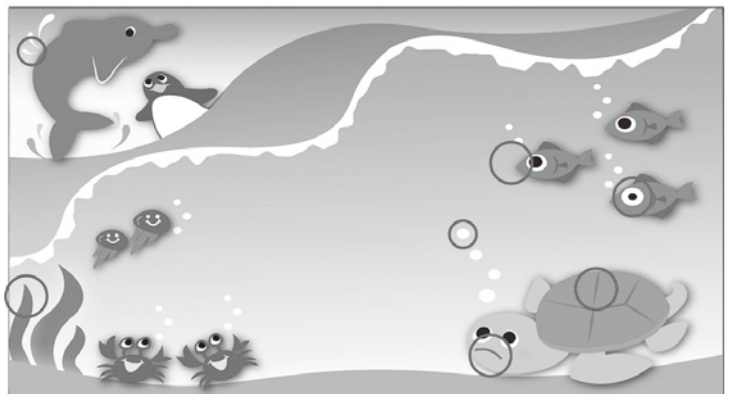
《役に立てること》

- ・庭掃除
- ・介護者の支援
- ・施設を慰問しての音楽活動

上記以外にも多数の声をお寄せいただいております。可能な範囲でマスクを送らせていただいたりしました。

まだまだ新型コロナウイルスへの不安は残りますが、助け合いの精神で乗り切りましょう！

9面まちがい探しのこたえ



「住所不明」組合員を探しています

次の①②のいずれかに該当する組合員を、今回と次回の通信でお知らせします。ご住所、ご連絡先が変わった方は高齢協本部までお伝えください。また、友人・知人でお心当たりのある方も、お手数おかけしますが高齢協本部（電話：073-488-1180）まで情報提供いただけると助かります。**2021年3月31日までに所在の確認ができない場合、理事会の承認を経て脱退手続きを行います。**

- ①過去2年、高齢協からの郵便物が「宛所不明」で返送される
- ②過去2年、登録された電話番号で確認が取れない

和歌山高齢協は20周年を迎え、組合員は4000人を超えました。しかし、通信や総代会のご案内などを送らせていただいても、住所変更で返送されてくる方が約300人います。高齢協の定款第10条2項では、「住所の変更届けを2年間行わなかったときは、脱退の予告があったものとみなし、理事会において脱退処理を行う」と定めています。

組合員番号	氏名
-------	----

※五十音順 ※敬称略

今号は「和歌山市内」、次号（秋号）は「和歌山市外」を掲載。

990	天野 一男
1179	天野 加直子
988	天野 駒子
3432	飯田 とみ彖
4471	猪鹿月 久美
2176	伊丹 美奈子
3577	井戸 徹郎
558	伊藤 松雄
1986	稲田 晶子
1474	伊吹 真砂子
4141	今村 真樹
279	井本 良二
1335	岩岡 生美子
2398	岩橋 栄子
851	岩橋 京子
727	上坂 和善
728	上坂 幸子
8	上田 しげ子
1172	上野 照代
576	上野 正子
4511	植村 清子
122	宇治田 豊子
4401	後 圭子
187	江川 千枝子
102	大川 静代
315	大谷 照子
314	大谷 紀夫
994	岡崎 テル子
917	岡田 和歌子
2267	岡室 要子
1166	岡本 由香
387	小木曾 雅裕
3052	奥村 徳夫
1108	小倉 直子
843	梶川 照子
527	兼本 直幸

526	兼本 タエ子
3707	加納 和
2341	上葛 すみ彖
13	亀井 喜久代
14	亀井 日出夫
2819	川口 知子
2451	北口 英子
2343	喜多村 艶子
2342	喜多村 幸雄
3131	京谷 弘章
1977	京谷 沙弥
1122	久保 峯夫
1956	栗山 シゲヨ
4642	黒岩 寿子
839	小久保さつき
2632	児玉 喜和子
2631	児玉 重雄
4754	小塚 侃児
2559	駒澤 妙子
1467	小守 勉
1284	根田 幸枝
1937	近藤 やよ美
1675	坂口 平夫
2590	阪下 勝彦
3016	坂田 秀夫
2336	崎山 範男
842	佐々木 一美
534	佐野 磯雄
1023	佐野 政子
827	芝崎 佐
361	庄司 サヨ子
439	鈴木 基弘
313	堰本 てる子
3924	埴田 和實
3923	埴田 美佐子
2753	大田 節子

1715	高井 太郎
3224	高橋 諄和
1327	高橋 晴代
623	高橋 真知子
791	滝本 笑子
3668	瀧本 友美子
285	武田 良司
2892	竹田 厚子
4496	武田 きく彖
751	竹本 貞夫
1440	竹本 哲雄
2586	田中 間一
2333	田中 静代
393	田中 隆司
403	田中 美子
416	辻本 千鶴子
2562	筒井 清美
312	土井 勉
2362	徳田 朝子
4670	得津 八重子
2412	土肥 絹子
2411	土肥 宏
995	永井 尚子
344	中井 尚代
2347	中浦 洋子
243	中尾 昭三
1624	中津留 鉄男
1455	中西 瑞穂子
655	中西 靖治
797	中野 成郎
664	中野 美由紀
188	中村 寛
1813	中村 円郁
711	中村 義男
2889	中山 卓也
3395	西谷 喜美子

986	西中 敏夫
1360	西山 恵美子
831	野中 規正
2324	長谷 千代子
205	秦 絹枝
540	畠中 眸
94	花岡 公子
1752	林 絹恵
704	林 賢治
4124	林 康子
3602	尾藤 佳代
302	平井 義男
560	平谷 和代
3256	平谷 康子
1249	広田 初子
738	福重 美子
3480	福西 将二
1817	藤田 啓一郎
2349	藤田 良子
908	藤原 芳史
2452	藤本 洋子
3959	古川 宗幹
282	堀内 秀雄
2080	堀川 とみ子
1943	堀川 綽
1368	堀本 英子
270	前川 尚子
338	馬上 恭子
624	増永 孝生
1477	松井 田鶴子
4257	松田 明子
357	松田 好司
962	丸岳 秀子
303	三木 羸恵
3011	水沢 豊文
2662	水野 寿賀子

4673	南 清子
618	南村 育美
4565	宮端 寅夫
650	宮本 佳珠子
263	宮本 忠晴
649	宮本 朋子
580	宮本 至孝
3793	向井 章
356	向井 辰美
3792	向井 教代
629	百溪 陽三
909	森實 豊国
2835	八幡 昌生
749	山崎 由可里
224	山崎 祐次
217	山崎 好志子
3119	山下 静子
642	山下 三男
2808	山田 綾子
4683	山本 克己
296	山本 健慈
3242	山本 ちづ
3136	山本 隼人
1488	山本 フミヨ
1167	山本 マツエ
691	湯原 美樹
2557	横田 輝
2041	吉田 小雪
66	吉原 節
67	吉原 みね子
4519	饒平名 行
579	若井 力